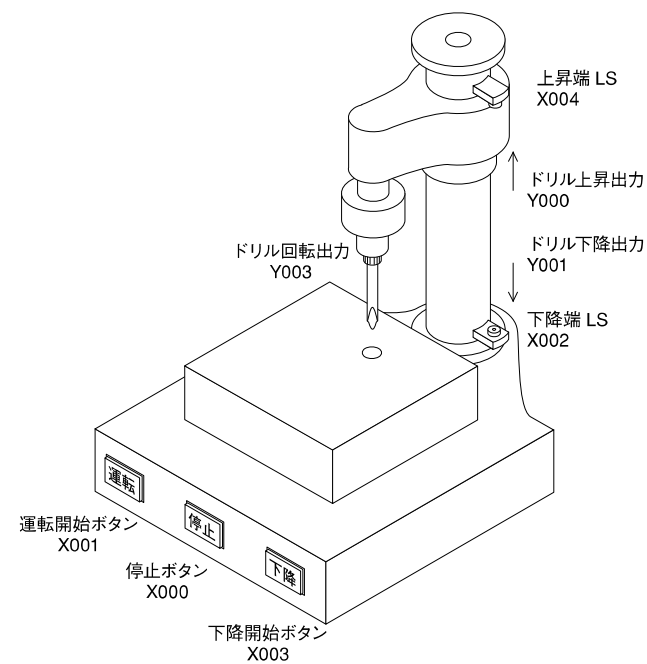


# 5.3 導入事例 3（ボール盤制御）

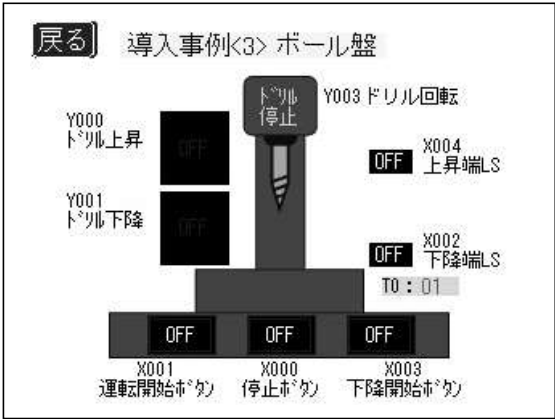
ボール盤での穴空け作業を例に、シーケンサのプログラムを考えてみましょう。



FX3U-32MT-SIM3 形 / FX3U-32MT-SIM3H 形

## 実習機画面

[FX シーケンサ（入門編）] → [導入事例 <3>]



## 《入出力割付》

入力	
X000	停止ボタン
X001	運転開始ボタン
X002	下降端 LS
X003	下降開始ボタン
X004	上昇端 LS

出力	
Y000	ドリル上昇出力
Y001	ドリル下降出力
Y003	ドリル回転出力

## 《制御仕様》

運転開始ボタン X001 を押すとドリル回転出力 Y003 が動作し、ドリルが回転を始めます。  
停止ボタン X000 を押すと回転出力 Y003 が不動作になり、ドリルの回転が停止します。  
ドリル回転中に、下降開始ボタン X003 を押すとドリル下降出力 Y001 が動作し、ドリルが下降を始めます。やがて、ドリルが下降端リミットスイッチの位置までくると下降端リミットスイッチ X002 が ON し、ドリルの下降動作が停止します。  
ドリルの下降動作が停止してから 3 秒後にドリルの上昇出力 Y000 が動作し、ドリルが上昇します。  
上昇を始めたドリルは、上昇端リミットスイッチ X004 が ON すると、上昇動作を終了します。